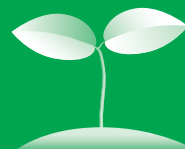


育てよう 鏡野のよい子シリーズ



「情報化とメディアコントロール」

「先生。授業でパソコンをするのは、メディアの時間になるん？」
一学期のメディアコントロール週間中に二年生の子に尋ねられた。ノーメディアを目標にしていたその子に、私は「メディアの時間に入れなくても良いよ」と伝えた。

そもそもメディアって何だろう。メディアには、「情報伝達を媒介する手段」あるいは「情報伝達の媒介者」という意味があるようだ。具体的には、新聞・テレビ・雑誌・ラジオ・インターネットなどの情報媒体やスマートフォンやパソコンなどの機器を指すと考えられる。と言うことは、「パソコンを使う」ということはメディアに触れることになると言える。

一方で、情報化が進む現在、内閣府が進めるSocial^{ソサエティ}5.0(※)の社会が、近い未来に実現すると考えられる。またこのコロナ禍の中では、リモートワーク、リモート学習が進められている。そんな社会の中ではメディアに全く触れない生活は考えられない。

では、メディアとはどのように付き合っていけば良いのだろうか。
私は『選択』が何より大切であると考える。メディアは

・ 何のために(目的)
・ 何を使って(手段)
・ 何を見るのか(内容)
・ いつ、どれくらいの時間使うのか
どれも自分で選択することができ、この選択する事こそが、メディアコントロールではないだろうか。

その中で、余暇の楽しみとして、好きなテレビ番組を見ることもあるだろう。また、プログラミング学習の進め方をYouTubeで見えることもあるだろう。図鑑を使って、好きな魚について調べるのもいいだろう。新聞を切り抜いて、地域の行事についてまとめるのもいいだろう。どれもメディアを活用している。

メディアをどのように遠ざけるかではなく、メディアを上手に利用し、得た情報をこれからの社会で活用できるように使って欲しい。そのため、今一度家族でメディアとの接し方を話し合ってもらいたい。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

富小学校 合田 尚樹

※social^{ソサエティ}5.0：第5期科学技術基本計画で提唱されている新しい社会の在り方。高度な技術で仮想空間と現実空間をつなぎ、経済発展と社会的課題の解決をする社会のこと。

のびのびひろば

ごっこあそびで広がる子どもの世界!

お店には
かきごおり機が
いるかも!



かきごおり屋さん

おいしいですよー



ジュース屋さん

7月、こども園の年長組では、「夏祭りがやりたい!」と夏祭りごっこが始まりました。まずは、チームに分かれどんなお店にしたいかを話し合いイメージを共有しました。お店が決まるといよいよ屋台作りです。どんな材料や素材を使うか、どんな風にお店や品物を表現するか、子ども達で意見を出し合い、工夫したり試したりしながら作りました。作っていく中で「看板があるな!」「お客さんが食べる場所があるよ」など様々な気づきも大切にしながら取り組むこと2週間!ついに、それぞれのイメージするお店ができました。「お客さんを呼ぼう!」と年下のクラスのお友達を招待し、みんなで楽しみました。夏まつりごっこを通して、言葉のやりとりを楽しんだり、みんなで協力してやり遂げた達成感を味わったりと充実した時間を過ごすことができました。

花火打ち上げ
大成功!!



花火屋さん



金魚すくい屋さん

やきそばおいしいな



これ
ください!



やきそば屋さん



(かがみの中央こども園)

